

次世代企業ネットワークに関する研究

アブストラクト

1. 背景と目的

企業を取り巻く環境は大きく変化しており、その変化への柔軟な対応が求められている。例えば技術の進化によるビジネスモデルの変化への対応や、少子高齢化による多様な働き方への対応などが挙げられる。その変化への対応として、特に重要なことが老朽化した既存システムへの対応である。経済産業省は「2025年の崖」として、これらのシステムを放置した場合、デジタル変革の足枷となり、2025年には最大12兆円の経済損失が生じると試算している。

企業の抱える課題を解決し、その先まで見据えた次世代企業ネットワーク構成について提言する。

2. 既存企業ネットワークのモデル化と問題点の洗い出し

分科会参加メンバーへヒアリングを行い、既存企業ネットワークのモデル化を行う。作成したモデル図と、既存企業ネットワークが抱える課題を、それぞれ図1と、表1に示す。

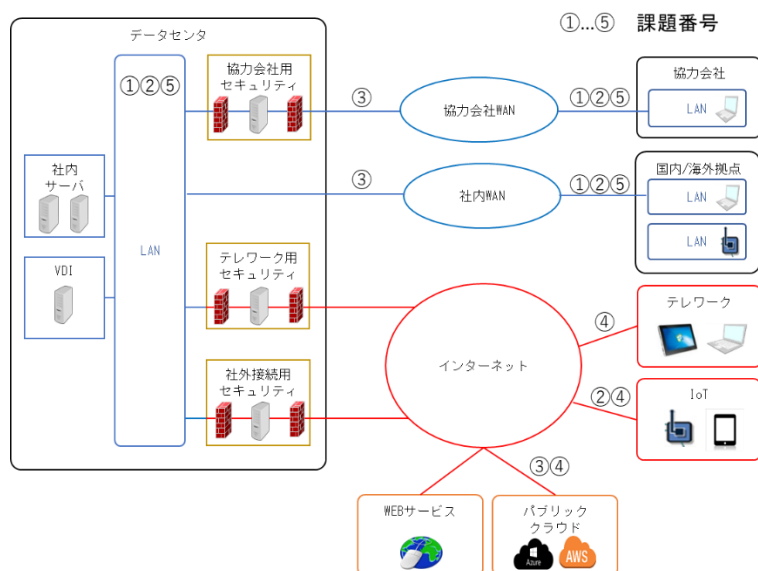


表1 現状企業ネットワークの課題

課題	内容
①	ネットワーク対応の加速化
②	ネットワーク拡張性の向上
③	ネットワークトラフィック増加への対応
④	セキュアな通信
⑤	ネットワーク運用性の向上

図1 現状企業ネットワークのモデル図

3. 仮説

現状企業ネットワークのモデル図で使用されていない新技術で、課題解決に効果が期待できるものを洗い出し、仮説を立てる。取り上げる新技術と課題との紐づけを、表2に示す。

表2 新技術と課題の対応表

No	新技術名	ネットワーク対応の加速化	企業ネットワークの拡張性の向上	ネットワークトラフィック増加への対応	セキュアな通信	企業ネットワークの運用性の向上
1	SD-WAN	○	○	○	-	○
2	インターコネクト	○	-	-	○	-
3	5G	○	○	○	-	-

